1. 衆議院議員選挙
2. 参議院議員選挙
3. 衆議院の選挙区と議員定数
   参議院の選挙区と議員定数

1. 衆議院議員選挙

我が国の国会は、衆議院および参議院の両議院で構成され、両議院は選出された議員で組織される。衆議院議員総選挙は常に議員定数全員について選挙を行い、任期満了に伴って選挙を行う場合と衆議院の解散によって選挙を行う場合の２通りである。

第２次世界大戦後の1945年に、選挙権をもつ人の年齢がそれまでの25歳から20歳に、被選挙権が30歳から25歳に変わり、また、初めて女子に選挙権および被選挙権が認められた。男女の投票率は、第27～31回衆議院議員総選挙まで男子の投票率の方が高く、その差は第27回で７％を超えていたが、第32回衆議院議員総選挙以後は女子の投票率が高まり、第38回衆議院議員総選挙では初めて２％女子の方が高くなっている。

選挙による党派別の推移をみると、第27回衆議院議員総選挙以後は、第27回を除き自民党がいずれも第１党を占め、次いで、社会党となっている。第31回衆議院議員総選挙で公明党が衆議院へ進出して以来、多党化時代が始まり今日にいたっている。

衆議院の全選出議員に対する婦人議員の割合は、第27回衆議院議員総選挙以後では、第28回衆議院議員総選挙の2.4％が最も高く、次いで、第35回衆議院議員総選挙の2.2％と続き、最も低いのは、第34回衆議院議員総選挙の1.2％となっている。

第27回衆議院議員総選挙以後の選挙では、第34回衆議院議員総選挙を除き、いずれも解散によって行われたものである。

〔主な資料〕

1. 自治省，昭和30年２月27日執行～昭和54年10月７日執行衆議院議員総選挙・最高裁判所裁判官国民審査結果調
2. 自治省，昭和55年６月22日執行衆議院議員総選挙・最高裁判所裁判官国民審査・参議院議員通常選挙結果調
3. 自治省，昭和58年12月18日執行衆議院議員総選挙・最高裁判所裁判官国民審査
4. 自治省，昭和61年７月６日執行衆議院議員総選挙・最高裁判所裁判官国民審査・参議院議員通常選挙結果調

衆議院議員選挙の概要

回	年　月　日	議員数	候補者数	当日有権者数	投票率
27	1955. 2.27	467	1,017	49,235,375	75.84
28	1958. 5.22	467	951	52,013,529	76.99
29	1960.11.20	467	940	54,312,993	73.51
30	1963.11.21	467	917	58,281,678	71.14
31	1967. 1.29	486	917	62,992,796	73.99
32	1969.12.27	486	945	69,260,424	68.51
33	1972.12.10	491	895	73,769,636	71.76
34	1976.12. 5	511	899	77,926,588	73.45
35	1979.10. 7	511	891	80,169,924	68.01
36	1980. 6.22	511	835	80,925,034	74.57
37	1983.12.18	511	848	84,252,608	67.94
38	1986. 7. 6	512	838	86,426,845	71.40

参議院議員選挙の概要

回	年　月　日		議員数	候補者数	当日有権者数	投票率
3	1953. 4.24	全国区	53	234	47,036,554	63.18
		地方区	75	213		63.18
4	1956. 7. 8	全国区	52	150	50,177,888	62.10
		地方区	75	191		62.11
5	1959. 6. 2	全国区	52	122	53,516,473	58.74
		地方区	75	208		58.75
6	1962. 7. 1	全国区	51	107	56,137,295	68.21
		地方区	76	221		68.22
7	1965. 7. 4	全国区	52	99	59,544,407	67.01
		地方区	75	233		67.02
8	1968. 7. 7	全国区	51	93	65,886,145	68.93
		地方区	75	212		68.94
9	1971. 6.27	全国区	50	106	71,177,667	59.23
		地方区	75	199		59.24
10	1974. 7. 7	全国区	54	112	75,356,068	73.20
		地方区	76	237		73.20
11	1977. 7.10	全国区	50	102	78,321,715	68.48
		地方区	76	218		68.49
12	1980. 6.22	全国区	50	93	80,925,034	74.51
		地方区	76	192		74.54
13	1983. 6.26	比例代表	50	191	83,682,416	57.00
		選挙区	76	239		57.00
14	1986. 7. 6	比例代表	50	243	86,426,845	71.32
		選挙区	76	263		71.36

（衆議院議員総選挙・最高裁判所裁判官国民審査・参議院議員通常選挙結果調から作成）

国民審査・参議院議員通常選挙結果調

2. 参議院議員選挙

参議院議員通常選挙は、議員定数の半数を３年ごとに改選し、任期満了によって選挙を行う。議員は比例代表および選挙区より選出される。

各回の投票率は、全般的に衆議院議員総選挙の投票率よりも低く、これまで最も投票率の高いのは、第12回参議院議員通常選挙の74.5％で、最も低いのは、第13回参議院議員通常選挙の57.0％である。男女の投票率は、第３～７回参議院議員通常選挙まで男子の投票率の方が高く、その差は第４回で９％を超えていたが、第８回参議院議員通常選挙以後は、女子の投票率が高まり、第14回参議院議員通常選挙では２％女子の投票率の方が高くなっている。

選挙による党派別の推移をみると、第３回参議院議員通常選挙以後は、第３回を除き、いずれも自民党が第１党を占め、次いで、社会党となっている。第６回参議院議員通常選挙以後は、参議院も衆議院と同様に多党化時代となり今日にいたっている。

参議院の全選出議員に対する婦人議員の割合は、第３回参議院議員通常選挙以後では、第13、14回参議院議員通常選挙の7.9％が最も高く、次いで、第３回参議院議員通常選挙の7.8％と続き、最も低いのは、第４回参議院議員通常選挙の3.9％となっている。

〔主な資料〕

1. 自治省，昭和28年４月24日執行～昭和52年７月10日執行参議院議員通常選挙結果調
2. 自治省，昭和55年６月22日執行衆議院議員総選挙・最高裁判所裁判官国民審査・参議院議員通常選挙結果調
3. 自治省，昭和58年６月26日執行参議院議員通常選挙結果調
4. 自治省，昭和61年７月６日執行衆議院議員総選挙・最高裁判所裁判官国民審査・参議院議員通常選挙結果調

3. 衆議院の選挙区と議員定数

衆議院の選挙制度は、中選挙区単記投票制で、議員の任期は４年である。1955年の選挙区と議員定数は、118区467人であったが、奄美諸島、沖縄などの復帰や東京、大阪、神奈川、千葉、愛知などの都府県で、選挙区の分割および定員増が行われ、1986年７月６日現在の議員定数は512人となった。また、議員定数別の選挙区の数は、定員１人１区、定員２人４区、定員３人42区、定員４人39区、定員５人43区、定員６人１区で、合計130区となった。

大都市とその周辺地域の人口の増加と、その他の地域での人口の減少により、選挙区ごとの有権者数と議員定数との比率の不均衡が生じている。1986年７月６日現在の議員定数１人あたりの有権者数は、最も多いのが、神奈川４区の30万4673人で、最も少ないのが、長野３区の10万4170人とその差は2.9倍となっている。

〔主な資料〕

1. 自治省，昭和61年７月６日執行衆議院議員総選挙・最高裁判所裁判官国民審査・参議院議員通常選挙結果調

3. 参議院の選挙区と議員定数

参議院の選挙制度は、比例代表制と選挙区制によっている。議員の任期は６年で、議員定数の半数が３年ごとに改選される。参議院の議員定数は252人で、そのうち比例代表選出議員は100人、選挙区選出議員は152人である。

比例代表制は、政党に投票された得票数を比例配分によって議員を選出する方法である。選挙区制は、各都道府県を１選挙区とし、その議員定数は選挙区の人口に応じて、それぞれ２，４，６，８人の定数である。８人区は東京都、北海道、６人区は愛知、大阪、兵庫、福岡の４府県、４人区は15府県、２人区は26県である。

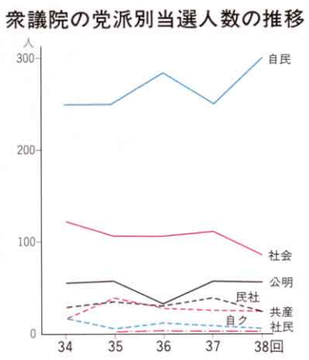
参議院においても、衆議院と同様に選挙区の人口の増減によって、有権者数と議員定数との比率の不均衡が生じている。1986年７月６日現在の選挙区の改選議員定数１人あたりの有権者数は、最も多いのが、神奈川県の264万982人で、最も少ないのが、鳥取県の45万1202人とその差は5.8倍となっている。

参議院の選挙制度は、第12回参議院議員通常選挙まで、全国区および地方区制を採っていた。

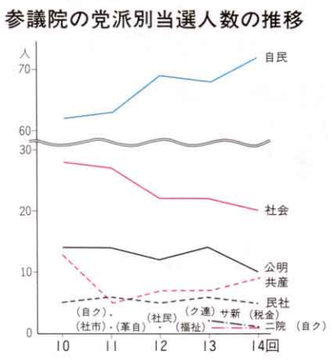
〔主な資料〕

1. 自治省，昭和61年７月６日執行衆議院議員総選挙・最高裁判所裁判官国民審査・参議院議員通常選挙結果調

衆議院の党派別当選人数の推移

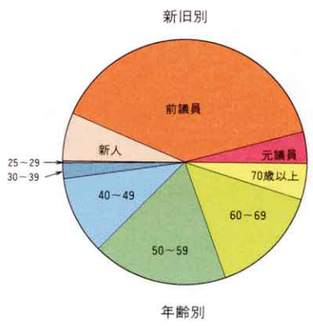


参議院の党派別当選人数の推移

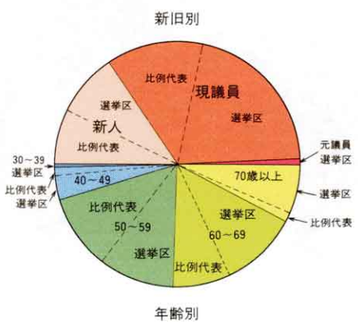


（衆議院議員総選挙・最高裁判所裁判官国民審査・参議院議員通常選挙結果調から作成）

第38回(1986.7.6)の衆議院選挙の当選人員

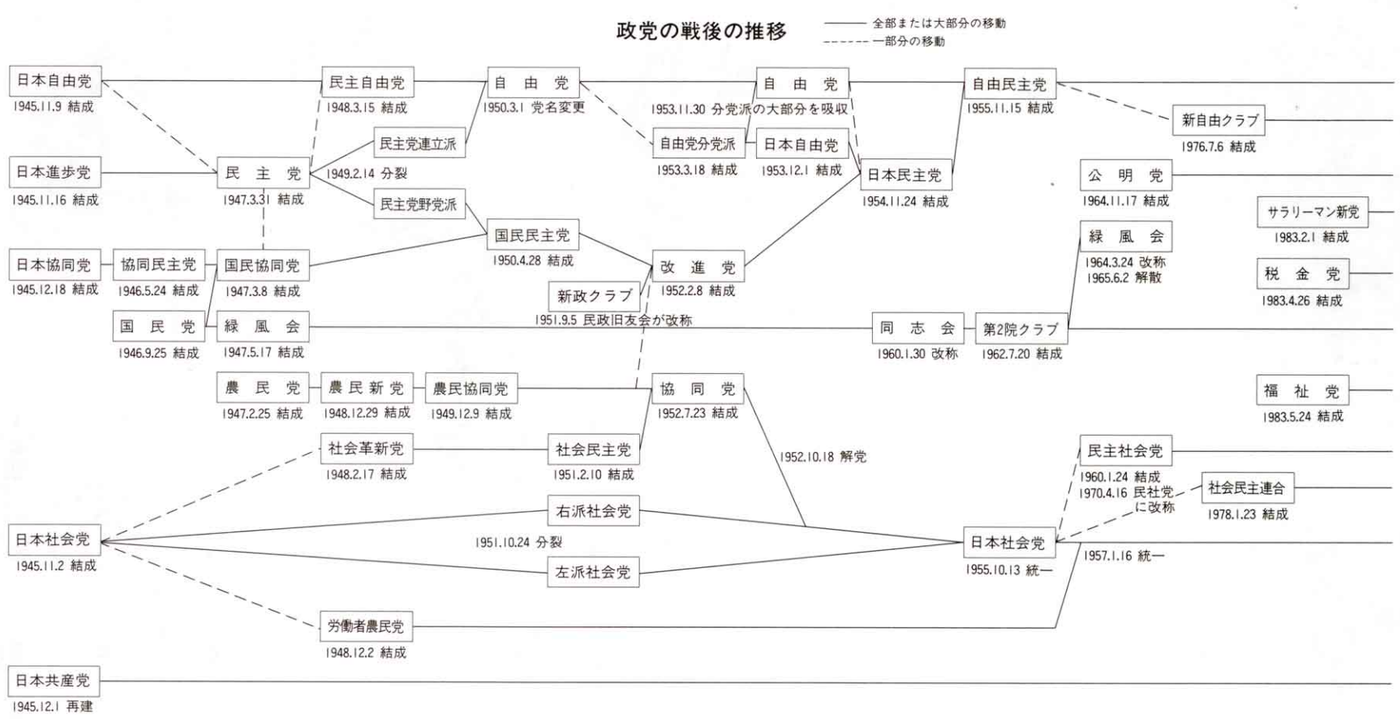


第14回(1986.7.6)の参議院選挙の当選人員



（衆議院議員総選挙・最高裁判所裁判官国民審査・参議院議員通常選挙結果調から作成）

政党の戦後の推移



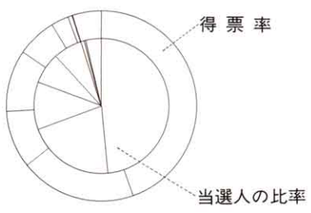
40.1

衆議院議員選挙

投票率

- 85%以上
- 80%以上 85%未満
- 75%以上 80%未満
- 70%以上 75%未満
- 65%以上 70%未満
- 65%未満

党派別の得票率と当選人の比率



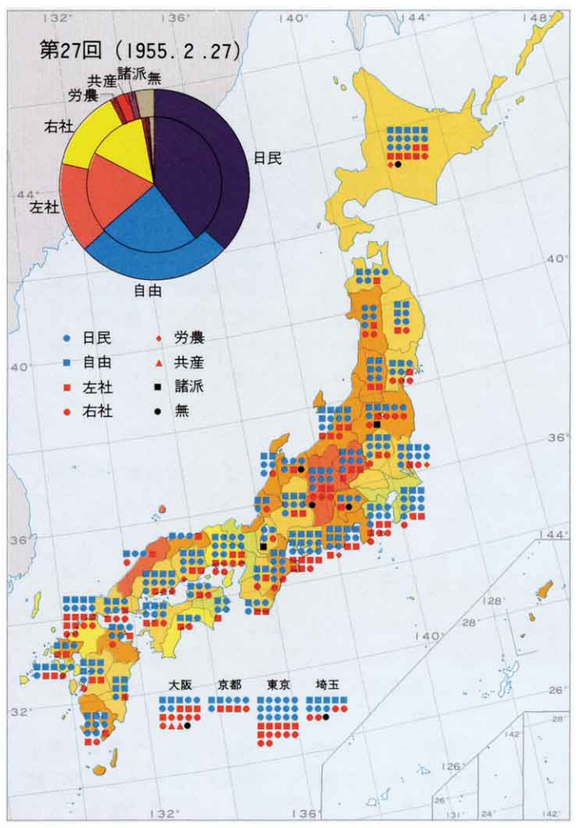
1：16,000,000

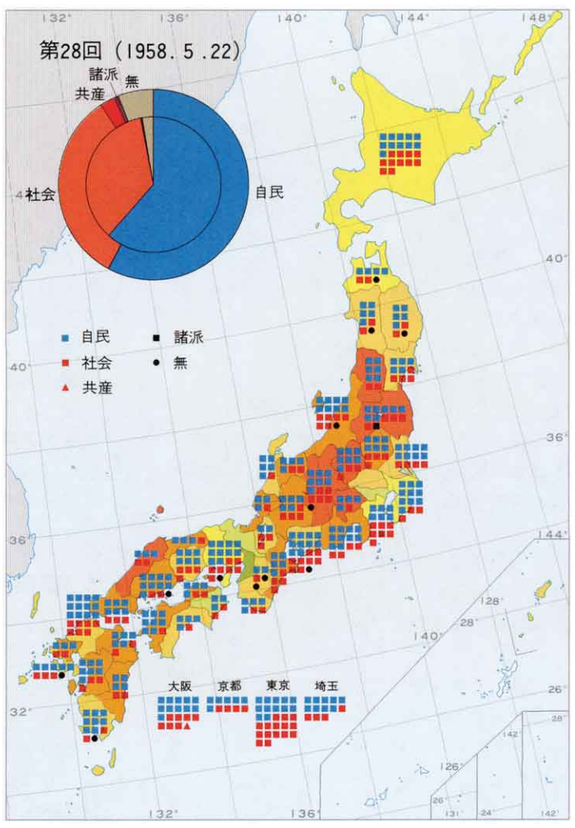
0 100 200 300 400 500 600 700 800km

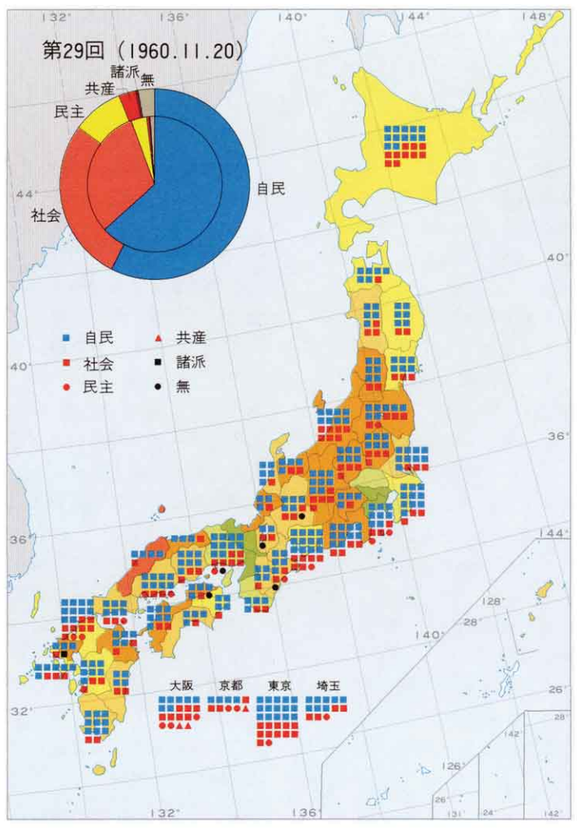
党派名

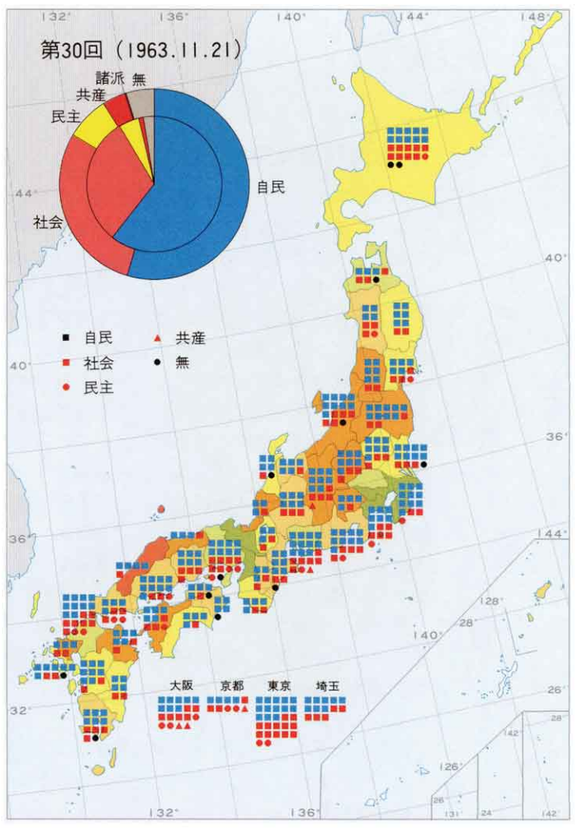
日民：日本民主党	共産：日本共産党	社民：社会民主連合
自由：自由党	労農：労働者農民党	諸派：諸　派
自民：自由民主党	民主：民主社会党	無　：無所属
社会：日本社会党	民社：民社党	
右社：日本社会党(右派)	公明：公明党	
左社：日本社会党(左派)	自ク：新自由クラブ	

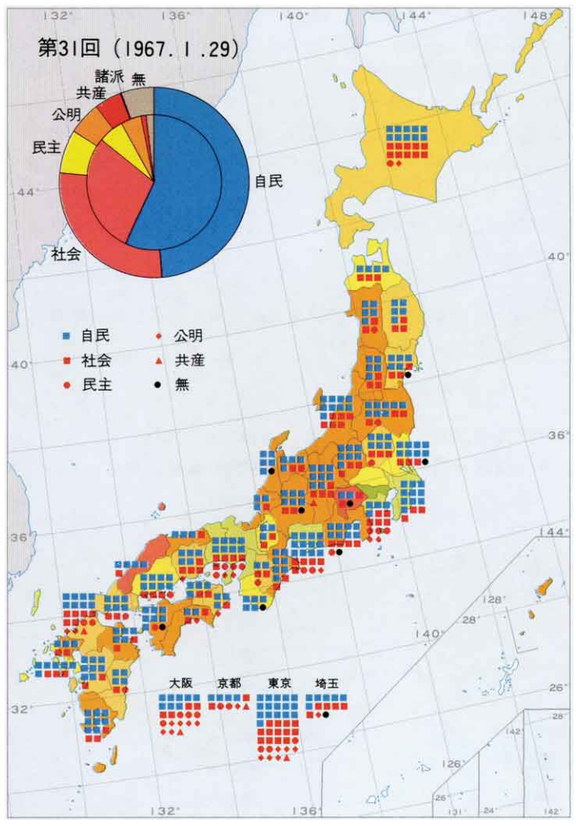
■ ● ▲ ◆ ▼ 当選人1人に対し1記号

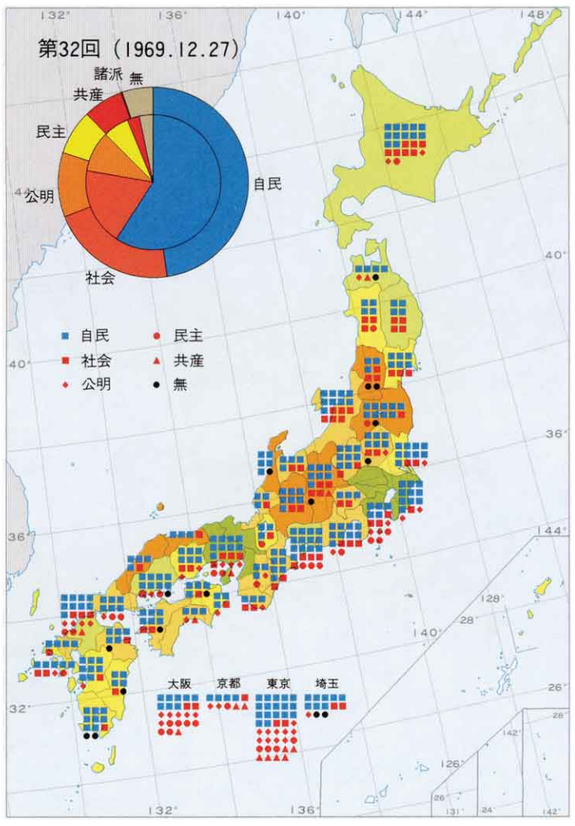


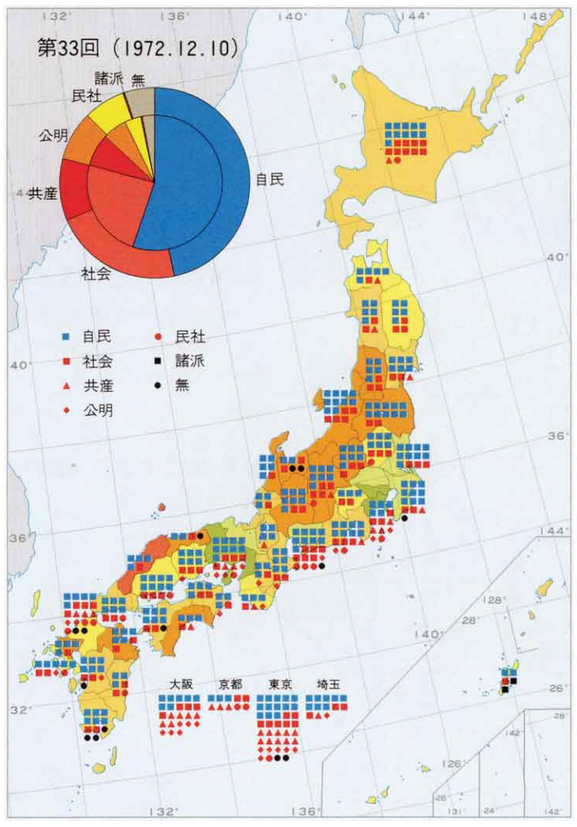


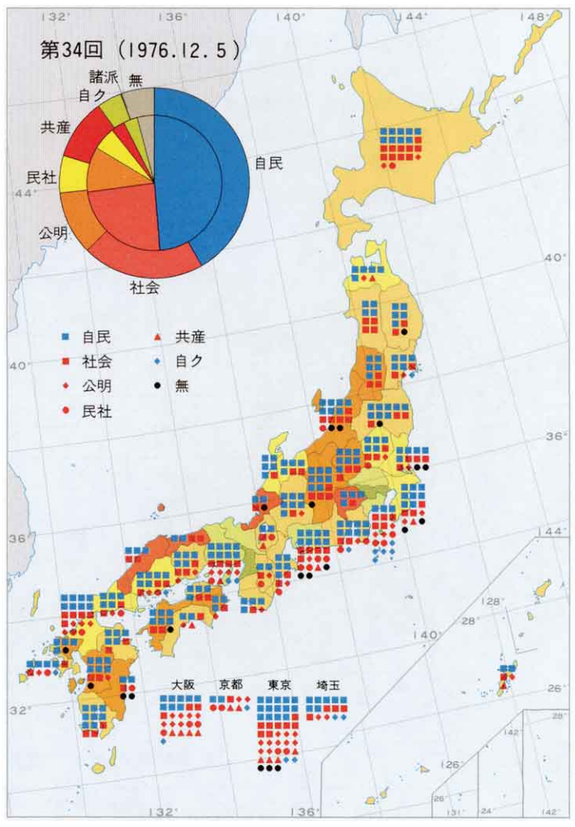


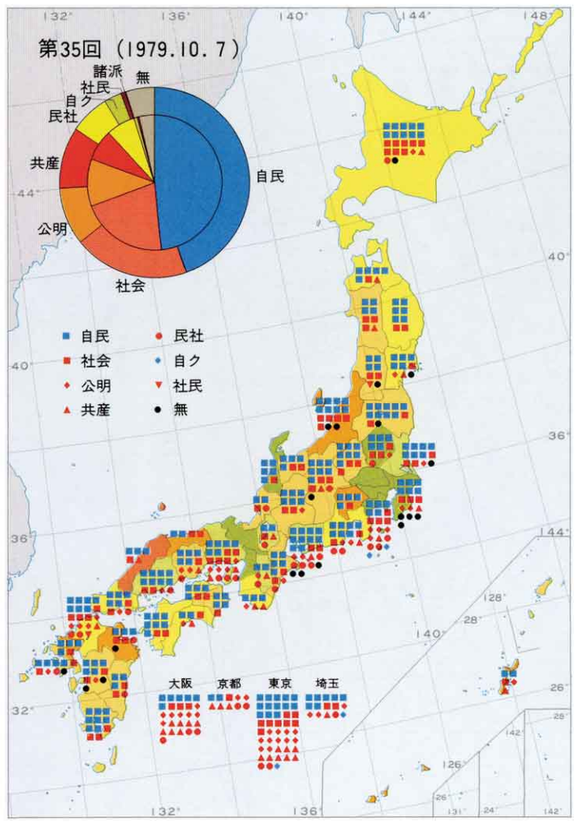


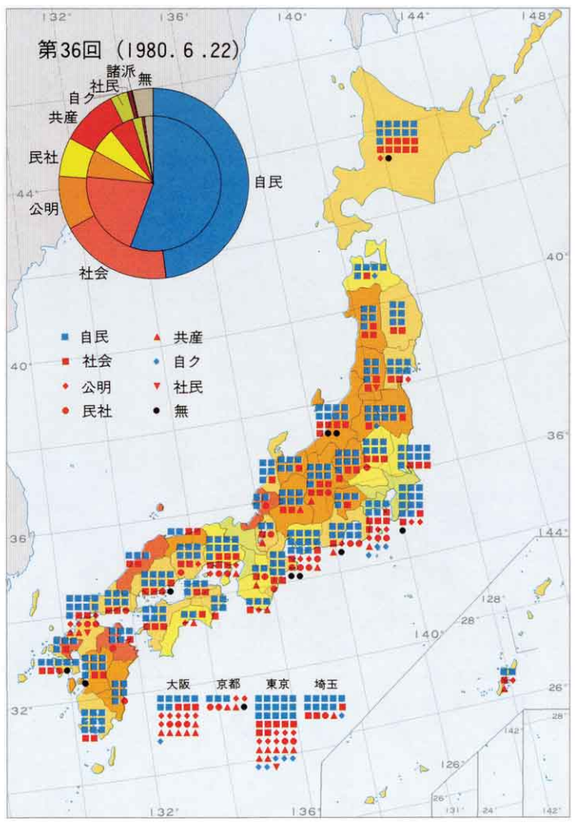


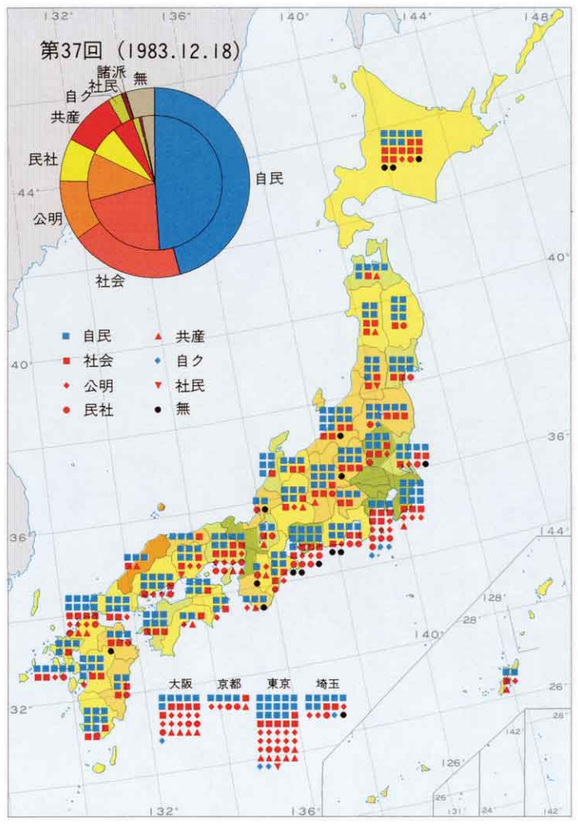


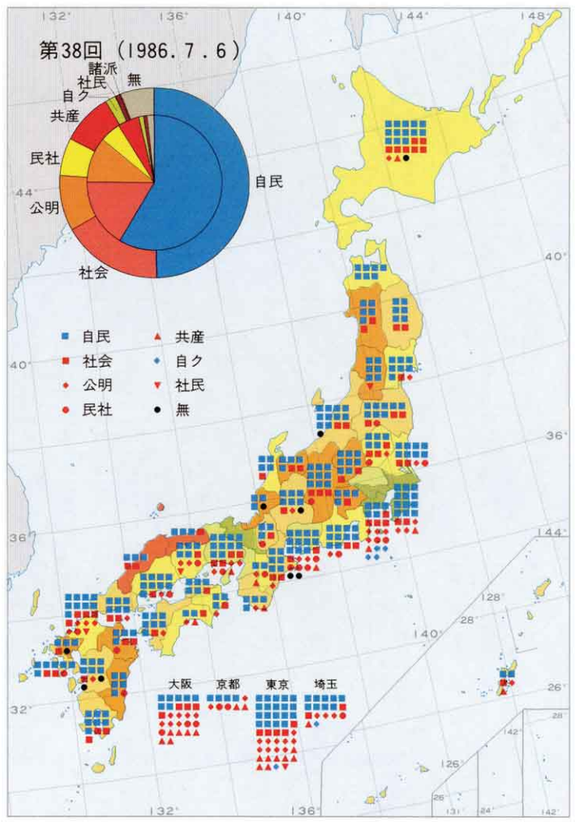












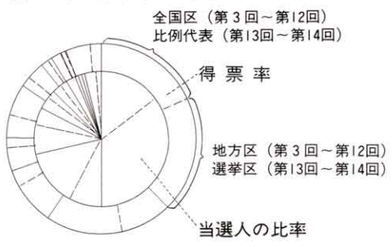
40.2

参議院議員選挙

投票率

- 80%以上
- 75%以上 80%未満
- 70%以上 75%未満
- 65%以上 70%未満
- 60%以上 65%未満
- 55%以上 60%未満
- 55%未満

党派別の得票率と当選人の比率

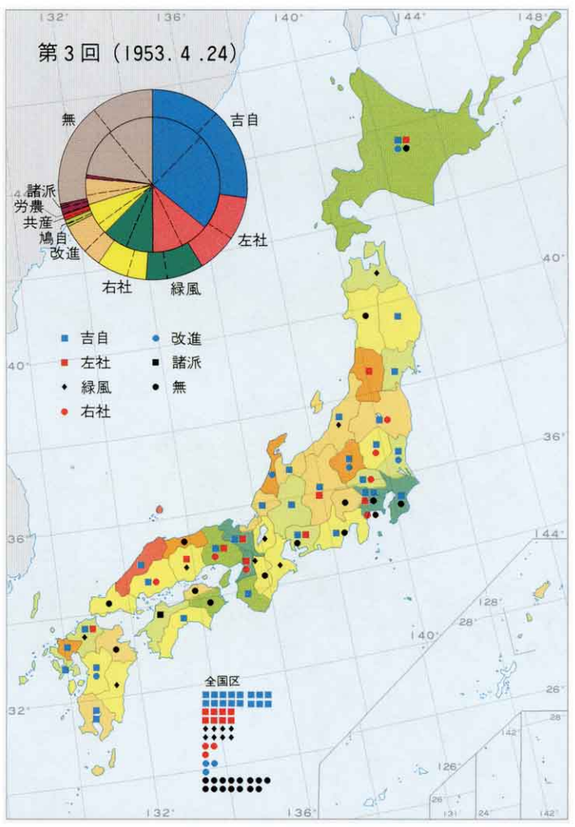


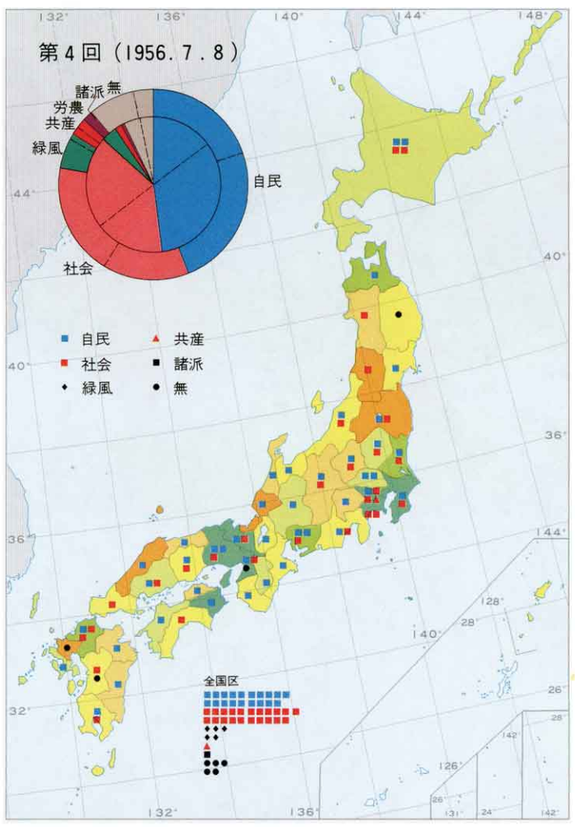
1：16,000,000

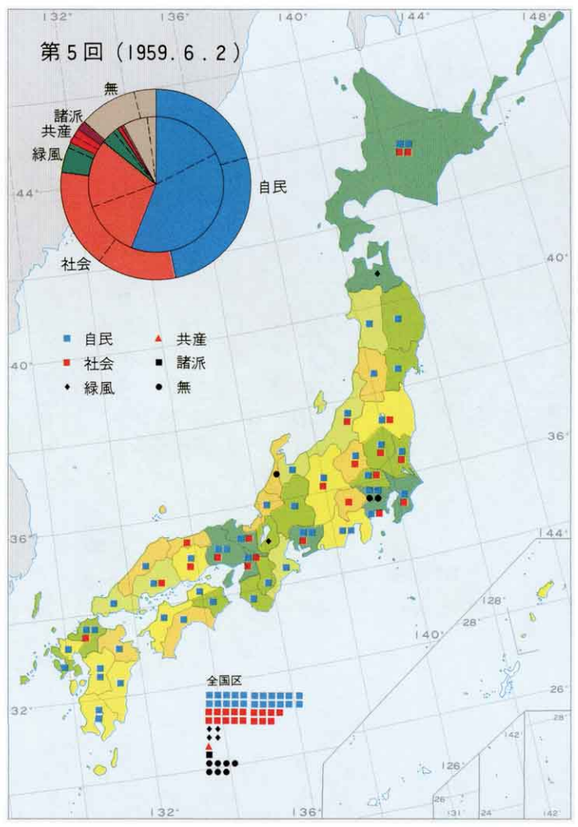
党派名

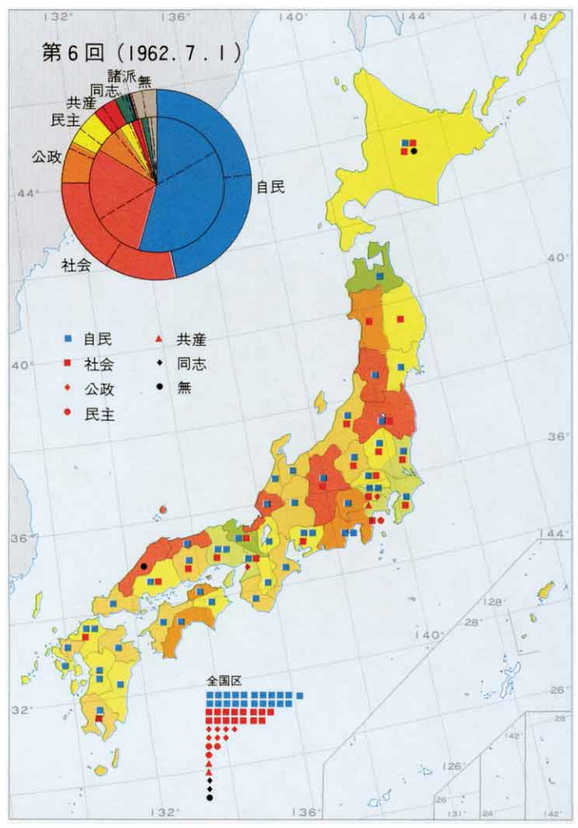
吉自：自由党(吉田派)	民主：民主社会党	社民：社会民主連合
鳩自：自由党(鳩山派)	民社：民社党	ク連：新自由クラブ民主連合
改進：改進党	公政：公明政治連盟	二院：第二院クラブ
自民：自由民主党	公明：公明党	サ新：サラリーマン新党
社会：日本社会党	緑風：緑風会	福祉：福祉党
右社：日本社会党(右派)	同志：同志会	税金：税金党
左社：日本社会党(左派)	自ク：新自由クラブ	諸派：諸　派
共産：日本共産党	社市：社会市民連合	無　：無所属
労農：労働者農民党	革自：革新自由連合	

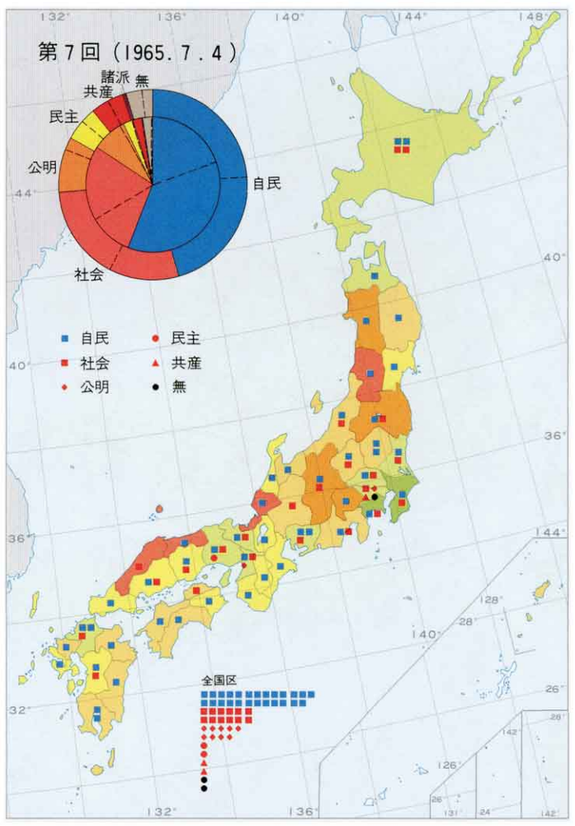
■ ● ▲ ▼ ◆ ◓ ◒ 当選人1人に対し1記号

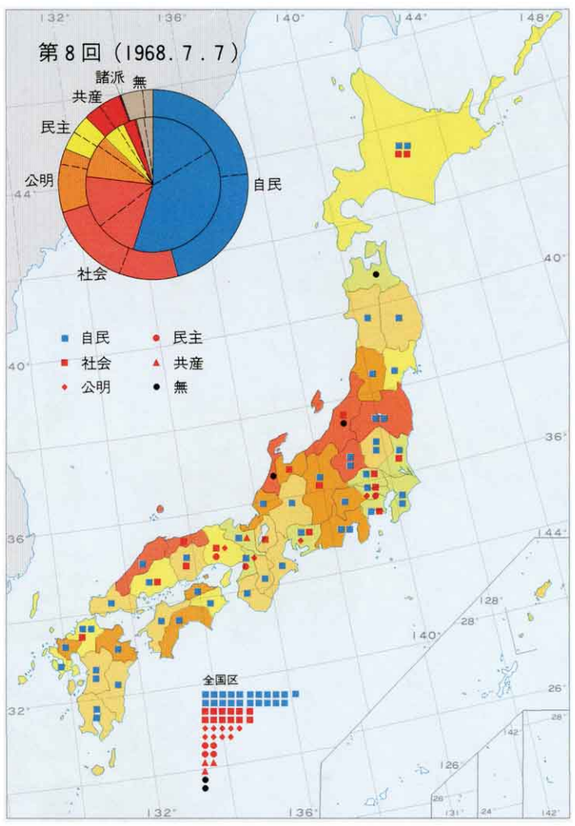


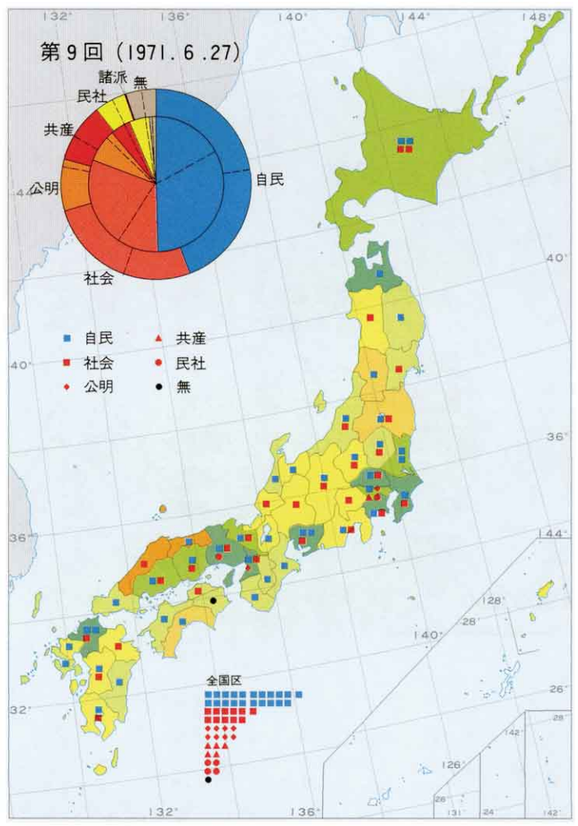


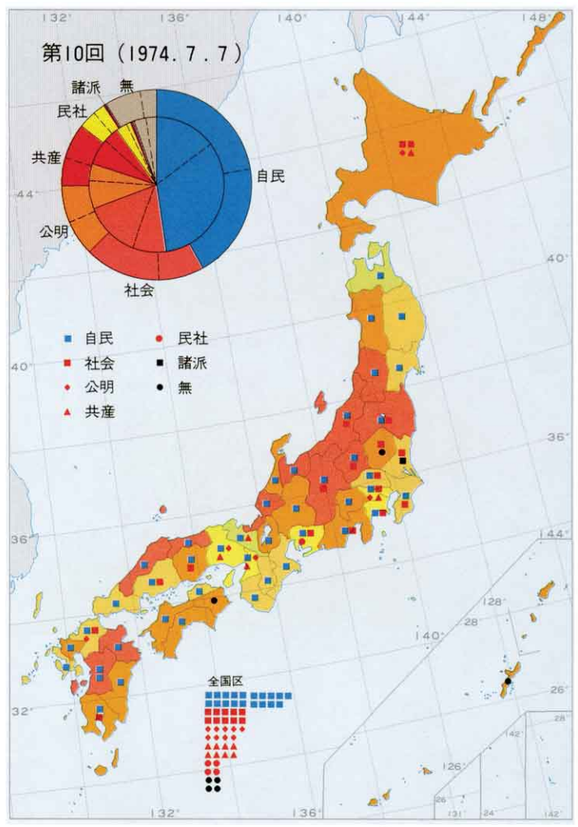
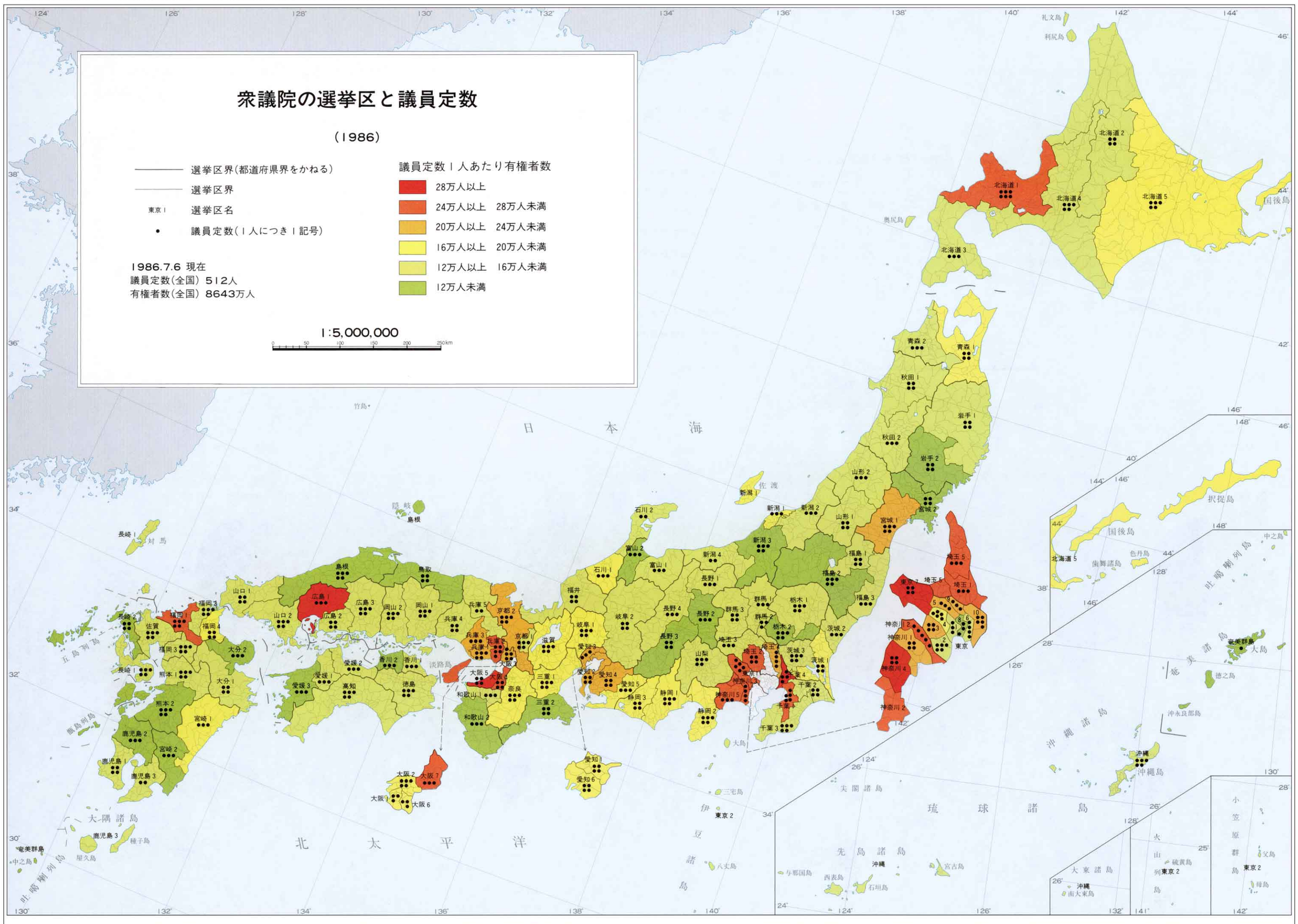
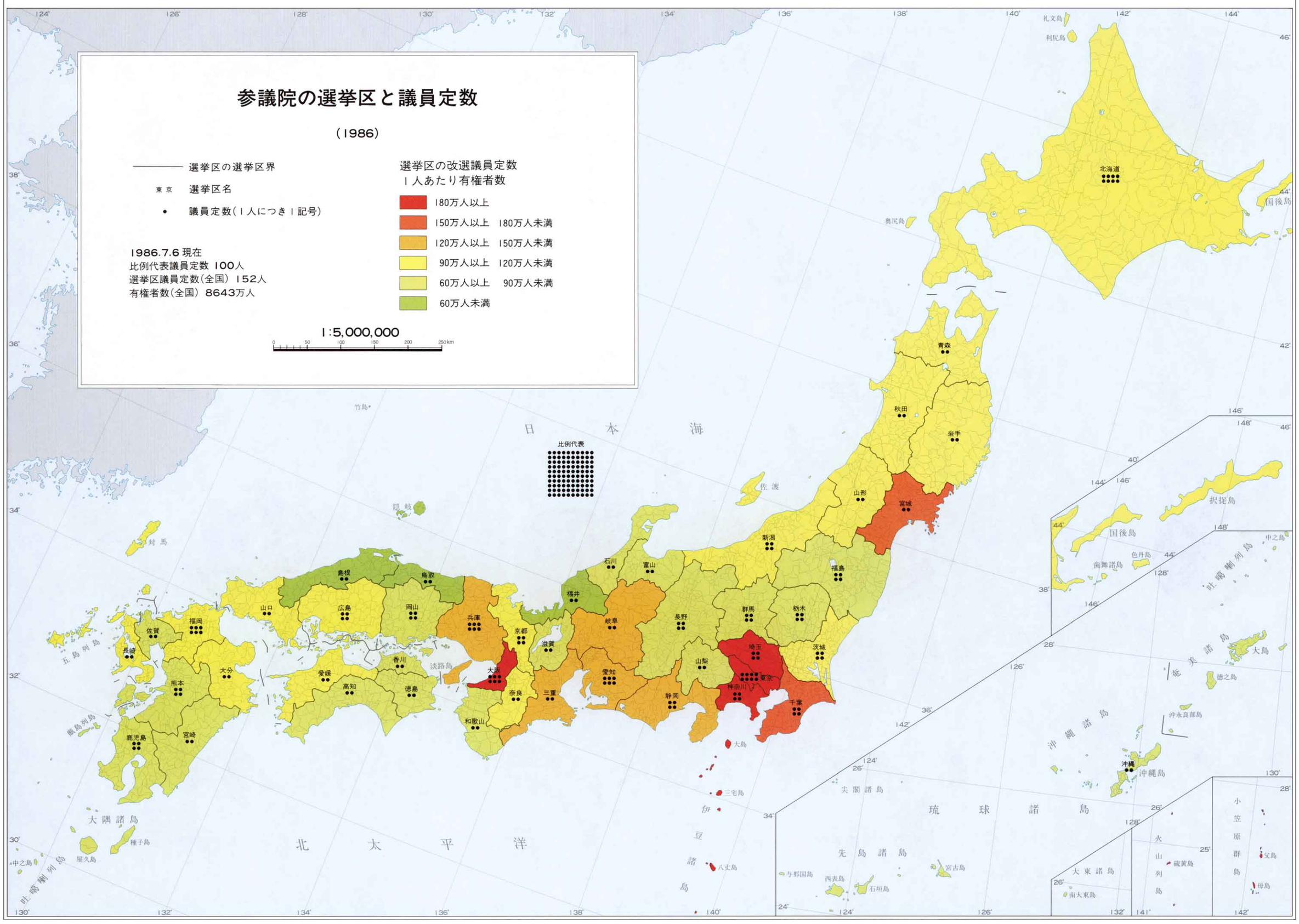












衆議院の選挙区と議員定数．　参議院の選挙区と議員定数